

主要国首脳会議（サミット）の沖縄県開催に関する意見書

主要国首脳会議（サミット）の西暦2000年日本開催が決定され、沖縄県がその開催候補地に挙げられていることから、県民の期待が日増しに大きくなっております。

沖縄は、わが国の南西端に位置し、琉球王朝の古から、近隣アジア諸国との交易を活発に展開、独特の生活文化圏を形成してきました。

加えて、亜熱帯海洋性という天与の素晴らしい自然環境は、心豊かな県民性を育み、今日、我が国有数の観光・保養地として脚光を浴びているところであります。

また、国におかれましては、新・全国総合開発計画の中で、本県をアジア・太平洋地域における多角的な交流と国際的な貢献活動の結節点としての役割を担うパシフィック・クロスロードとして位置づけ、振興を図ることとしております。

このように、地理的、文化的特性を有する沖縄は、国際社会の平和と政治経済の安定等、国際的諸課題について討議するサミットの開催地として最も相応しく、国際性豊かで平和を愛する県民性が会議を成功に導く大きな原動力になるものとして確信しております。

よって、国におかれましては、西暦2000年に日本で開催される主要国首脳会議（サミット）の成功を期するとともに、沖縄県の自立的発展と我が国の南の国際交流拠点としての整備を加速する大きな契機とするため、同サミットを是非とも沖縄県で開催していただくよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出致します。

平成11年3月29日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

内閣総理大臣 内閣官房長官 内閣官房副長官 外務大臣 外務省政務次官 外務省事務次官

沖縄開発庁長官 沖縄開発庁政務次官 沖縄開発庁事務次官 沖縄開発庁総務局長

沖縄開発庁振興局長